

在宅療養の良さとは？

医療機関の機能分化が進み、急性期病院での入院期間は国の方針により短縮されています。治療が一段落すれば、施設へ入所するか、自宅での介護にするか、の選択をしなければなりません。



今回は『病院』『施設』『在宅』それぞれの現場を体験したスタッフから在宅療養の良さをお伝えいたします。

それぞれの場所には言い表せない利点・欠点がありますが、以下のようにまとめられます。

	利点	欠点
病院	治療が優先され苦痛の緩和が図れる	医療者に自分の想いが伝えづらい
施設	病院と自宅の間であり集団生活の中で穏やかに過ごす	医療者の不足から対応が遅れる場合がある
在宅	住み慣れた環境でご家族と一緒に穏やかに過ごす	在宅で出来る治療に限界がある

在宅療養の良さは、実際に以下のような感想として寄せられています。

- ・生活リズムを優先出来る
- ・ご家族との時間を大切に過ごせることが出来る
- ・叶えたい夢を実現しやすくなる など

在宅療養をされている時の患者様の表情は、在宅復帰した時の表情は比べものにならない程穏やかな顔をされている方が多くいらっしゃいます。

また、訪問看護ではご利用者様だけでなくご家族のサポートもさせていただいております。『家に帰ってきて良かった』という言葉に励まされ、今後もより多くのご利用者様を在宅チームと共に支えて行く所存です。

当院では退院前に病院・在宅チームで合同会議を行っています。退院に向かわれている皆様、お気軽にお問い合わせいただくと幸いです。

訪問看護ステーション みつつの輪
平日 9:00～17:00 ☎043-309-9933